



TITLE:

京都大学学術情報リポジトリ報告

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学学術情報リポジトリ報告. 2007

ISSUE DATE:

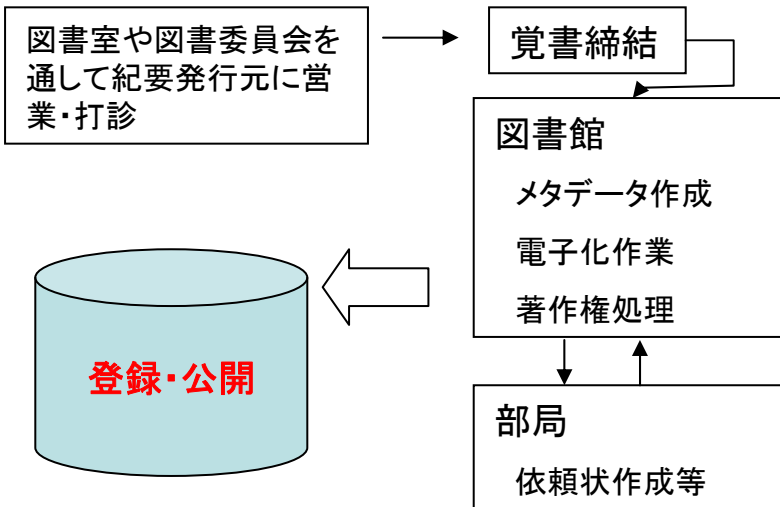
2007-07-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/44052>

RIGHT:

どのようにコンテンツ構築を行っているか？



- A研究科の場合
 - － 図書委員会を訪問し営業
 - － 紀要の電子化・登録を図書委員会、教授会で決定=部局と図書館の共同事業として
 - － 図書館側がフルコーディネート(電子化、著作権者の連絡先調査・発送作業)
 - － 部局は合意形成、依頼状・許諾書作成等
- B研究室の場合
 - － 研究室を訪問し広報
 - － 教室単位の紀要類の電子化・登録の意向
 - － 研究室で著作権処理、図書館が電子化

◆京大方式のコンテンツ構築戦略

- ・部局単位の営業・取り組み→約55の図書館・室ネットワークを活かす
- ・まずは紀要類の電子化から→部局には潜在的な電子化ニーズがある→作業の面倒さやノウハウが障壁に→リポジトリ事業がその受け皿に→営業するとすぐに話がまとまる時もある
- ・図書館と部局の共同事業として→Win-Winの関係を作る→図書館と部局の信頼を強化→次の段階(学術雑誌論文・学位論文)に繋げる
- ・大きなボリュームのある紀要等の電子化・著作権処理の場合は学内経費の獲得へ

図書館と研究組織を繋げる契機に！

より使いやすいシステムを目指した機能強化

Kyoto University Research Information Repository >

検索

評価検索

ホーム

ブラウズ

コミュニティ

タイトル

著者

主題

日付

ヘルプ

DSpaceについて

上海センター・シンポジウム報告書

発行: 京都大学大学院経済学研究科上海センター

Current Issue Back Issues

Search

List of Issues

中国と日本の政治経済学:河上肇記念シンポジウム報告書 (2005)

対中企業進出の現況と問題点 (2004)

China's Economic Development and Structural Change in East Asia (2003)

オーバーレイ・ジャーナル機能(H19.5)

→報告書・論文集にも適用

AIRway 対応 (H19.5)

JuNii+からハーベスト (H19.6)

統計作成(開発中)

メタデータ出力機能(開発中)

学術情報ハブとしての図書館を目指して



(3) 京都大学が日々創造する世界的に卓越した知的成果の蓄積・発信を行う。

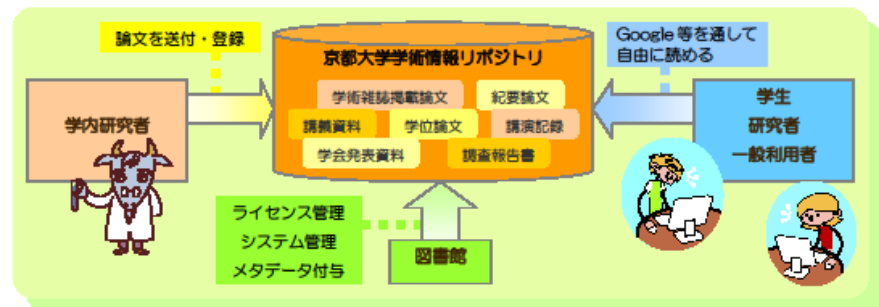
『京都大学図書館機構の基本理念と目標』(2007.4)

課題

- ・広報:より広い範囲の研究者・学生に事業を知ってもらう
- ・より使いやすいナビゲーション機能を
ex. リンク・リゾルバ対応
- ・登録者とのコミュニケーション
ex. アクセス数の登録者への通知
- ・安定的な事業モデルの構築

あなたの研究成果を、世界に広めませんか？

図書館が、あなたの「もつ確かな」知を広く社会に提供のお手伝いをします。



京都大学学術情報リポジトリとは？

京都大学で生産される研究成果（学術論文等）をインターネット上に公開し、あなたの「もつ確かな」知を広く社会に提供する仕組みです。

研究成果をリポジトリで公開するメリットは？

MERIT1
より多くの人に
読んでもらえる機会を
提供します！
新たなコミュニケーションの可能性も

MERIT2
研究のインパクトを高める
ことに繋がります！
引用回数が増えたという報告も

MERIT3
学内の学生・研究者と
確かな「知」を共有する
ことに繋がります！
論文執筆時の参考にも

MERIT4
図書館があなたの研究成果を
確実に保存し継承します！
デジタル・データの散逸を防ぐためにも

登録は、原稿ファイルをメールで送るだけ！

- ✓ 図書館が著作権等の確認、メタデータ（タイトル等）の確認をして公開します。
- ✓ 図書館から「登録申請書」を送りますので、ご記入ください。

- *学術雑誌掲載論文の場合は、出版社の規定によって、出版社版 PDF ファイルなどをそのまま登録・公開することができない場合があります。投稿・査読時の著者最終原稿をご登録ください。
- *共著者がある場合は、その方々の了承を得てください。
- *学術雑誌掲載論文以外にも、紀要論文や学位論文、講義資料、学会発表資料（プレゼンテーション資料）、講演資料、調査報告書、一次資料（調査統計データ、歴史的史料）等々、学術的な資料は何でも登録できます。
- *紙媒体しかない場合も電子化して公開することが可能です。お気軽にご相談ください。

大学と社会のコミュニケーションの場に育てていきましょう！

どの研究成果がどれだけ読まれているかご報告します。

また、質問や二次利用の問い合わせが来た場合は、図書館からご連絡します。

資料の送付先・お問い合わせ先：京都大学附属図書館電子情報掛

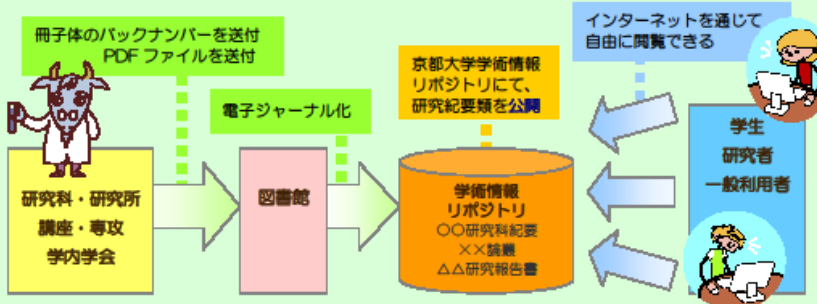
〒606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL：075-753-2618 FAX：075-753-2649

京都大学学術情報リポジトリ 総合案内サイト <http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/kurir/index.html>

研究紀要類の電子ジャーナル化を支援します！

図書館機構が、各部局・講座等の発行する研究紀要やテクニカルレポート、報告書等の電子ジャーナル化を支援します。研究紀要類の利用の機会を高めましょう。

研究紀要類がリポジトリで公開されるまでの流れ



京都大学学術情報リポジトリで研究紀要類を公開するメリットは？

1. 世界中のどこからでも、いつでもアクセスが可能になります
 → 研究成果が読まれる機会が拡大します！
 → 研究のインパクトを高めることに繋がります！
2. 京都大学として、確実に保存し継承します
 → 散逸しがちなデジタル・データを図書館の蔵書と同じように保存し後世に伝えます！



電子ジャーナル化の希望がある場合は、下記までご連絡ください！

- (1) 発行元（研究科・講座）と図書館との間で電子化の計画を立てます。
- (2) バックナンバーを電子化します。電子ファイルがある場合はファイルを送ってください。（経費については予算が尽きるまでは図書館が負担します。）
- (3) 京都大学学術情報リポジトリで公開します。
- (4) データの保全に努め後世に伝えます。利用状況についてお知らせします。

まずは図書館までお気軽にご相談ください。



資料の送付先・お問い合わせ先：京都大学附属図書館電子情報掛

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL：075-753-2618 FAX：075-753-2649

京都大学学術情報リポジトリ 総合案内サイト <http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/kurir/index.html>



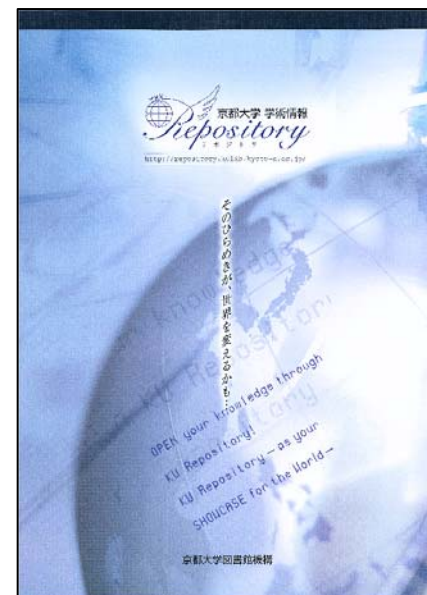
京都大学学術情報リポジトリ: 広報

ウェブページ



<http://edb.kulib.kyoto-u.ac.jp/kurir/index.html>

広報資料



公開事業 : 発信する学術情報コンテンツ

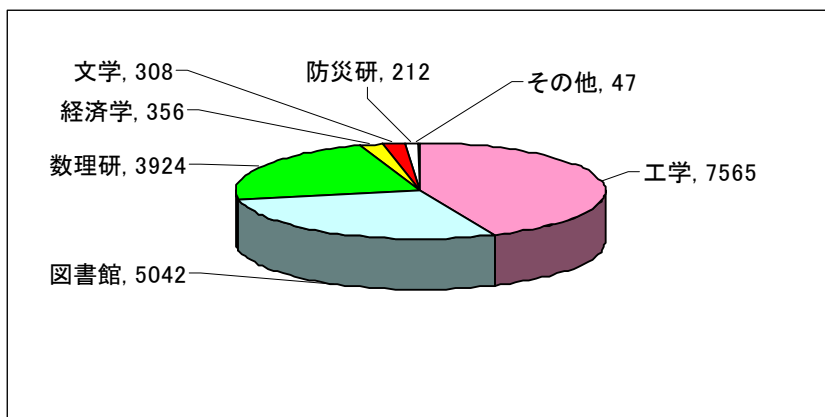
平成18年12月20日 桂キャンパス



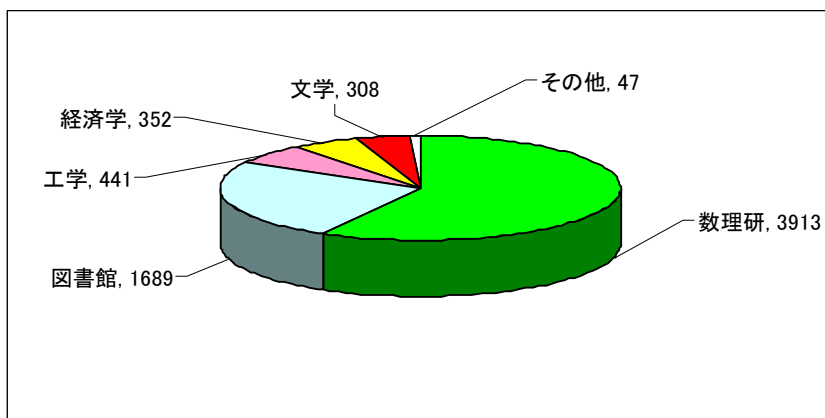
平成19年10月 公開事業開催予定!



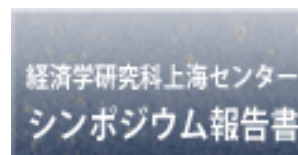
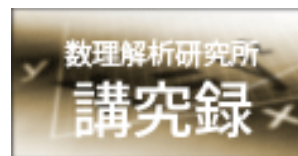
京都大学学術情報リポジトリ:コンテンツ構築



メタデータ登録件数: 17,454件 (H.19.6.19現在)



本文登録件数: 6,750件(H19.6.19現在)



- 尾池総長の著作を収録
- 全学の事業として、部局と図書館との連携によりコンテンツを収集・登録
- 博士論文登録許諾依頼の制度化(工学研究科)
- 紀要等のメタデータ作成・電子化・著作権許諾依頼
- 学術論文の登録(IEEE, APS, AIP)
- その他の刊行物等を登録